



平成 29 年 3 月 3 日
海 上 保 安 庁

ジブチ共和国・フィリピン共和国への航空機派遣について（結果概要）

～各国関係機関との連携・協力関係の強化～

海上保安庁では、ジブチ共和国及びフィリピン共和国に航空機を派遣し、関係機関との間で海賊護送訓練、海賊対策等にかかる意見・情報交換を実施しました。

今回の航空機派遣等を通じて、各国海上保安機関等との連携が更に強化されることが期待されます。

海上保安庁では、ソマリア沖・アデン湾で逮捕した海賊の身柄を我が国に護送する必要が生じた場合に、迅速かつ円滑な護送を行うため、当庁航空機をジブチ共和国へ派遣し海賊護送訓練等を実施しています。今回の当庁航空機のジブチ共和国への派遣は2年連続で通算6回目であり、海賊護送訓練の実施は通算5回目となりました。

また、派遣先では各国海上保安機関等への表敬訪問を行うとともに、海賊情勢・対策に関する意見・情報交換を実施しました。

1. 派遣航空機及び派遣者

第三管区海上保安本部羽田航空基地所属 ガルフV「うみわし」

秋本 茂雄 海上保安監 他 18 名（搭乗員、関係省庁職員等含む）

2. 日程等

平成 29 年 2 月 24 日（金）羽田発

25 日（土）ジブチ着

26 日（日）海賊護送訓練

27 日（月）沿岸警備隊、国家治安庁、設備・運輸省との意見交換

28 日（火）ジブチ発

3 月 1 日（水）フィリピン着、沿岸警備隊、外務省との意見交換

2 日（木）フィリピン発、羽田着

ジブチ共和国での様子



海賊護送訓練①（護衛艦内で拘束中の海賊被疑者）



海賊護送訓練②（護衛艦を下船）



海賊護送訓練③（現地沿岸警備隊の車両で空港へ）



海賊護送訓練④（空港到着後、当庁航空機へ）



沿岸警備隊との意見交換



国家治安庁との意見交換

フィリピン共和国での様子



沿岸警備隊との意見交換



外務省との意見交換